

# 松戸市議団ニュース

## 松戸市12月議会が閉会しました。

2019年12月議会が閉会しました。

日本共産党市議団は全員が質問に立ち、大型開発と財政見直し、オスプレイの暫定配備への対応、LGBT問題、補聴器の購入補助、ゆうかり学園跡地の活用、市営テニスコートの利用について、介護保険の改善、教員の多忙化、児童虐待防止、放課後児童クラブの充実、市長の退職金問題、北総線の運賃引き下げ、道路・通学路の安全対策、災害対策などを取り上げ、市政の歪みを正し、憲法を活かした市政運営に向け提言をおこないました。

その中で、通学路となっている歩道橋の安全対策や、放課後児童クラブの備品購入手続きの改善、災害対策での種々の改善要求について見通しが示されるとともに、市長の退職金問題をめぐり、松戸のモリ・カケ、「桜を見る会」とも言えるような市政の私物化の実態を明らかにしました。

議案では市長や議員の期末手当の増額提案に反対、また市立総合医療センターの精神科外来の再開を求める陳情については採択に力を尽くしました。

最終日には日本共産党が提案した「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書」が公明党を含む賛成多数で可決されるなどの成果もありました。

お忙しいなか傍聴においで下さった皆さんに感謝申し上げます、良いお年を。

2019年12月26日

日本共産党松戸市議団

### テラスモール松戸へのゲームセンター許可へ、地区計画変更

本議案はテラスモール松戸へのゲームセンター出店にかかる議案です。この議案の問題は風営法で規制された施設の建設は出来ないことになっていった地区計画を変更するという点と、市民にとって重要な問題であるにも関わらず、商業施設のオープンに間に合わないからという理由で、議会を経ずに専決処分をしたという点です。質疑の中では事業者の法令違反の疑いも追及しました。

地区計画とは、ある地区の建築や開発行為を制限することで一体的に良好な環境整備やまちづくりを行うためのものです。当地区では2年前にゲームセンターを許可しないという地区計画を策定したにもかかわらず、ゲームセンター出店に合わせて地区計画を変えようという、本末転倒な事態に加え、オープンに間に合わないから議会を通さず専決でと二重に市民軽視であり、また事業者の法令違反の疑いなどから、日本共産党はこの議案に反対しました。

### 特別職・議員の期末手当アップに反対

国の人事院勧告を受け、市職員の給与や勤め手当の増額が提案されました。職員の給与アップは、清掃業務委託の労働者や放課後児童クラブ支援員等の人件費のアップに連動することから賛成しました。

他方、職員の手当アップに便乗するかた

ちで市長や議員の期末手当を増額する提案も出されました。この間、大企業が内部留保を史上最高にため込む一方で市民の給与・年収が下がり続けている実態があります。こうした問題の根源に手を入れていくところが政治に携わる者の責任であり、市民の生活実態からも市長・議員の期末手当アップには理解を得られない、として反対しました。

### 放射線科分割と損害賠償額の引き上げの議案に賛成

市立病院関係の条例で2つの改正が提案されました。ひとつは放射線科を診断科と治療家に分割して受診者の利便性の向上を図るものであり賛成です。

もう一つは、医療ミスなどで損害賠償が発生した時、これまで100万円以上は議会に報告し議決が必要だった仕組みを、200万円以上に引き上げる変更です。

病院としては医療ミスの報告手続きが少なくなる一方、議会のチェックが働く場面が減少してしまうため問題です。

今回は2つの改正を内容としています。1本の条例改正として提案されたため、問題点を指摘しつつ賛成しました。

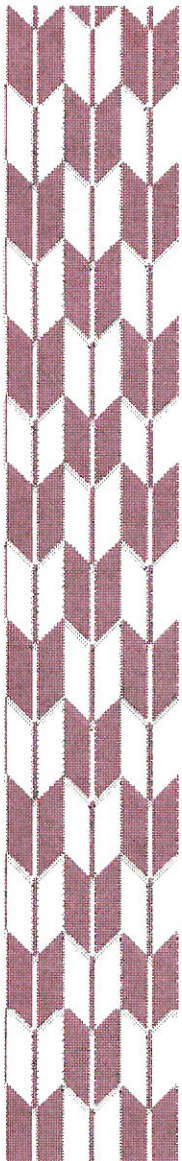
### 市長の退職金問題、市政の私物化やめよ。

9月議会、市長が2期目の退職金にかかる税金計算の際、勤続年数を4年間で計算せず1期目の4年も加えた8年間で計算することで「540万円も節税したのでは」と指摘しました。

今議会ではさらに昨年の市長選直後、本郷谷市長のためだけの「特例条例」を提案しようとしていたことが分かりました。もし条例ができていれば節税額はさらに増え、合計870万円以上になっていた計算です。

結局、条例案は引っ込めましたが、前述の勤続年数8年での税金計算が可能かどうかの調査のため、職員が5ヶ月以上の時間と労力をかけ、47都道府県や他の自治体、税理士や税務署に確認し、市民の税金が費やされました。しかも「退職の1ヶ月以内に支給しなければならぬ」という条例にも違反していますが、副市長から「適切な対応」との答弁がありました。

本郷谷市長の節税のために専用の「特例条例」を検討し、職員の時間と労力、多額の市民の税金を費やし、条例違反まで正当化する姿勢に「市政の私物化はやめよ」とただしました。



# 市立総合医療センターでの精神科外来の再開を求める陳情

市立病院はこの11年間精神科外来を休診しています。そのため市内では精神障がい者が合併症治療のために外来診察及び入院を受け入れる病院を探すのが大変困難となっています。陳情は市立総合医療センターの精神科外来を再開して入院診療も行ってほしいというものです。

審査の中で市立総合医療センターでは、常勤医師が3人いれば精神科外来が再開でき入院診療の加算もつく。しかし、この間精神科医を募集しても応募はなく今後募集を続け、体制を整えば精神科外来を再開する意志を確認しました。

市内の精神の障害者手帳所持者はこの9年間で倍増しており、合併症での入院の場合は船橋市や旭市など遠方への入院を余儀なくされています。

市立総合医療センターは公立病院として、市民が切実に要望している精神科外来の再開と入院診療を行うよう採択を求めましたが、自・公など反対多数で不採択となりました。

## 「議会活性化検討協議会」

### 議員の賛否公開「答申」、

### 市長提出議案のみ

議員の賛否公開についての答申が先日議長に提出されました。主な内容は、「市長提出議案のみの公開」、及び「賛否の確認方法は電子採決（押しボタン式など）が望ましい」というものです。

賛否公開については、これまでも2回

請願が出されましたがいずれも賛否公開だけでは誤解を招くという理由などから不採択となっていました。しかし県内でも8割以上の自治体が賛否を公開し、開かれた議会に向けて賛否公開は避けて通れない課題となっています。

今回の答申では公開の点では一歩前進ですが、意見書、陳情、請願は対象外です。また多額の費用が掛かる電子採決の方法が望ましいとされました。さらにホームページへの理由の掲載も提案されました。今後の議論は広報委員会などにゆだねられることになっています。

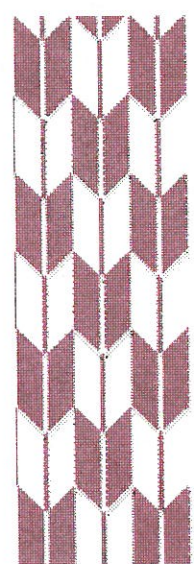
日本共産党は全ての議案の賛否公開の速やかな実施を求め引き続き全力を尽くします。

## 「消費税を減税せよ」など国への意見書6本を提案

日本共産党は①から⑥の意見書案を提案しました。

- ① 「消費税減税」
  - ② 「土砂災害警戒区域」の早期指定完了と急傾斜地崩壊対策事業予算の増額
  - ③ 「被災者生活再建支援法」の抜本的改正を求める3本の意見書を単独で、
  - ④ 「生態系への影響が指摘されるネオニコチノイド系農薬の規制」
  - ⑤ 「選択的夫婦別姓制度の法制化」
  - ⑥ 「気候危機・気候非常事態を前提とした地球温暖化対策の強化」を求める意見書3本は政策実行フォーラムと共同で提案しました。
- ①は12名、②と③は14名の賛成がありました。④については公明党も含めて24名の賛成で可決し、⑥は全会一致

2020年3月定例会 予定表			
2月13日	陳情・請願提出期限	4日	本会議（代表質問）
14日	議案説明会	5日	本会議（代表質問）
17日	予算説明会	6日	総務財務常任委員会
21日	議会運営委員会	10日	健康福祉常任委員会
25日	本会議（議案提案）	11日	教育環境常任委員会
26日	各常任委員会	13日	建設経済常任委員会
27日	一般質問通告期限	16～23日	予算審査特別委員会
3月2日	本会議（先議採決）	25日	本会議（最終日）
3日	本会議（代表質問）		以上



で可決しました。互いに合意に向けて努力した成果です。

自公が提案した「スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める」意見書については、農林水産省が既に強力に推し進めているもので、歴代自民党政権が農産物輸入の自由化や農地の集約・大規模化を進め、企業の農業参入をしやすい、家族経営や農村を荒廃させてきた責任は重いと指摘し、農業再生に踏み出すべきと訴えて、この意見書案に反対しました。

2019年12月議会 主な審査結果一覧表	会派	議員名	日本共産党		政策実行フォーラム			市	公明党							松政クラブ							市民クラブ																			
			宇津野	山口	平	二階	原	増田	関根	岡本	成島	山中	中西	飯	伊	岩	織	城	鈴木	高橋	諸	石	大	木	杉	田	小	大	松	中	山	末	深	市	岩							
○賛成 ×反対 退：退席 欠：欠席																																										
12月議会で審議された、23の議案、陳情等に対して、賛成19、反対4																																										
議案第40号 テラスモールへのゲームセンターの許可	一般議案	可決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
議案第44号・45号 議員・市長等の期末手当の引き上げ	一般議案	可決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議案第46号 職員の給与・勤勉手当の引き上げなど	一般議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号 松戸市手話言語条例の制定について	一般議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第5号 市立総合医療センターの精神科外来再開を求める陳情	陳情	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14号 消費税を減税するよう求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15号 「土砂災害警戒区域」の早期の指定完了と急傾斜地崩壊対策事業の予算増額を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16号 生態系への影響が指摘されるネオニコチノイド系農薬の規制を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17号 被災生活再建支援法の抜本的改正を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18号 選択的夫婦別姓制度の法制化に関する意見書	意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19号 スマート農業による競争力強化の加速を求める意見書	意見書	可決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
20号 台風15・19号からの復旧・復興支援を求める意見書	意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21号 地球温暖化対策のさらなる強化を求める意見書	意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

会派の名称 市：市民力 \*：議長のため裁決に加わらない 敬称略